

平成22年度

教師用

「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査)

小学校 第4学年 国語

- 先生のはじめの合図で始めてください。
- 問題用紙は、5枚あります。
- 答えは、問題用紙の「かいとうらん」に書いてください。

学校名	
-----	--

年	組	番
名前		

熊本県教育委員会

1

今聞きとったことをもとに、次の問題に答えましょう。

(1) ひろしさんがしようかいした本の題名は何でしたか。次の に本の題名を書きましょう。

①

(2) 二人は、おすすめの本のことを分かりやすく伝えるために、それぞれくふうしていることがあります。それは、どんなことでしょうか。それぞれ当てはまるものを、次のア～オから一つずつえらんで、記号で答えましょう。

ひろしさん

②

ゆみこさん

③

ア おもしろかったところを中心にして発表すること
イ 伝えたい本の内ようを二つにしぼって発表すること
ウ 本の中の登場人物の会話を取り上げて発表すること
エ にた内ようの本を読んで思ったことを発表すること
オ 文章の書き方のくふうを取り上げて発表すること

(3) さあ、次はあなたがおすすめの本をしようかいする番です。あなたは、どんなくふうをして発表しますか。くふうしたいことを、前の(2)の ア～オ から一つえらんで、記号で答えましょう。

あなたがくふうしたいこと

④

くふうしたいことをもとにして、あなたのおすすめの本を、学級の人々にしようかいするよう書きましょう。

わたしのおすすめの本は、「 」です。

⑤

次の問題に答えましょう。

(1) 次の文の――線の漢字の読みがなを書きましよう。

① 印象に残る。

⑥

② 遊びに加わる。

わる

⑦

③ 健康に気を付ける。

⑧

④ 野原で遊ぶ。

⑨

⑤ 線で囲む。

む

⑩

(2) 次の文の――線のひらがなを漢字に直しましよう。

① 使い方をせつめいする。

⑪

② 国語じてんで調べる。

⑫

③ 教科書をおく。

く

⑬

④ こくばんに字を書く。

⑭

⑤ あせを流してはたらく。

く

⑮

(3) 次の――の中には、文と文をつなぐ言葉が入ります。最もふさわしいものを、あとの――の中からえらんで、記号で答えましよう。

今日は朝から雨がふりそうだった。

――、わたしはかさを持ってこなかった。

ア だから イ でも ウ それに エ また

⑬

(4) 次の――の言葉は、ア・イ・ウ・エのどの言葉をくわしくしていますか。当てはまるものを一つえらんで、記号で答えましよう。

ア 白い雪が

イ ちらちらと

ウ 空から

エ ふり出した。

⑭

(5) たかしさんは、書写の時間に、「左右」の字を書きましたが、なかなか形が整いません。あな

たは、たかしさんにどんなアドバイスをしますか。次の――に書きましよう。

左 右

⑮

(6) いよいよ来年春、九州新幹線が全線開業します。そこで、新しい新幹線の名前を知らせるポスターを作ることになりました。外国から来た人にも分かるようにローマ字で書きたいと思

います。

下のわくの中に、「しんかんせんと「さくら」をローマ字で書いてみましよう。

来年春開業 新幹線さくら



し ん か ん せ ん

⑯

さ く ら

⑰

生き物を守ることにについて調べている本田さんは、町の図書館で、カブトガニについて今から約二十年前に書かれた次の文章を見つけました。よく読んで、あとの問題に答えましょう。(①～⑨は、だん落番号)

(土屋圭示「カブトガニ」による。)

(1) どうしてカブトガニという名前が付いたのでしょうか。その理由を、次の□に書きましよう。

21

(2) 本田さんは、右の文章のまとまりを、下の表にまとめています。表の中の、まとまり二とまとまり三に当てはまるだん落番号と、そこに書いてあることを短くまとめて書き入れ、表を完成させましょう。

カブトガニ

まとまり	だん落番号	書いてあること
一	① ②	カブトガニのしょうかい
二		
三		
四	⑧ ⑨	へってきたカブトガニを守る運動

23

22

(3) 今の笠岡市のカブトガニの様子を知りたいと思った本田さんは、次のような文章を見つけた。二十年前と今とをくらべてみると、笠岡市のカブトガニの様子について、どんなことが分かるでしょうか。カブトガニを守る運動についてのあなたの考えも入れながら、あとの□に書きましよう。

今、笠岡市の海岸を歩いてみると、元気な子どものカブトガニが何びきも見つかります。また、二年続けて自然産卵もかくにんできました。海岸は、少しずつ元の姿を取りもどしつつあります。

*自然産卵：人が手伝うことなく、自然のままでたまごを産むこと。

25

24

ある日のことです。「くまさん」にへんしんしたあなたは、森の入口にやってきました。今、あなたの目の前には、初めて見る世界が広がっています。さあ、早くこのふしぎな世界をたんけんしてみましよう。そして、そこで見たこと、したこと、思ったことなどをもとにして、あなただけのお話を作りましよう。

※「」より

(三森ゆりか「絵本で育てる情報分析力」による。)

- (1) このふしぎな世界で、くまさんにへんしんしたあなたが、行ってみたいところはどこですか。一番に行ってみたいところを一つえらんで、赤えんぴつではっきりと○を付けましよう。②⑥
- (2) ○をつけたところで、あなたはどんなことをしたいですか。また、そのとき、あなたはどんなことを思ったり考えたりするのでしょうか。【例】のように書きましよう。
- ※ 右の木の上のたまごのところにいきたい場合

【例】

したいこと	ひびが入って、今にも何かが出てきそうな大きなたまごを見守りたい。
思ったこと、考えたこと	何のたまごかな。たぶん大きな生きものだろうな。早く出てきてほしいな。

したいこと	
思ったこと、考えたこと	

